

このすば×ブロリーMAD

全神王

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

へハハ!!とうとうこの小説が投稿される時が来た様だなあ

お前達!この作品を読まなかったら…血祭り☆血祭り☆ブイーン!
!↑異世界への装置を潜る音

早速、伝説のスーパー魔王を征伐しに出かける!後に続け!カカロット!ピッコロ!パラガス!ブロリー!ブイーン!

10円!!タア!!ブイーン!

魔王討伐なんて、無理ですよ(あつさり)

ごちゃごちゃ言うな!!俺を困らせたいかー!パキーン!

うわぁー!!ブイーン!

腐☆腐異世界で綺麗なオネエさんと絡みあーう☆ブイーン!

へへへ!異世界はオラのもんだー!!ブイーン!

誰か1人忘れちゃいませんか?…パタン…ハアツ☆

※注意※本編とは関わりがありません

この作品はブロリーMAD成分が豊富に詰まっております、ブロリーMADを知っているならもう感じて察してくれるでしょう。もし、知らなかった場合…YouTubeかニコニコで学習しロツトオオオオオ!

あ、あとタイトル変更があります。何回か…。多分…。

目次

異世界へGO!	1
異世界イイイイ!!	6

異世界へGO!

「この〜背中に〜鳥〜の様に〜白→〜イ〜つ〜ばさ〜つけ〜てください〜ンダ?」

空から巨大な宇宙船が着陸しようとしていた!

キュイイイイイイイイイイン!!

ウイイイイイン

でかい宇宙船なのに親父い1人だけが乗っていた。ボツチなのだろうか。

「エ〜〜→!」パラガス? 一体なんの様だ?」

「ベジータ、今回は面白い装置を科学者に作らせました」

「何?」

「どうぞ?」

何か怪しい雰囲気を放ちまくるパラガス。まあ、単なる加齢臭だ。

「ほおう、一体どんな装置だ?」

「腐☆腐…ご教授しよう!それは…異世界へと移動できる装置なのだよ」バー!!ン!

「ダニイ!」

目の前にはでかい輪っかの様なものがあつた。

(これ、ベイ○ツク○のやつじゃん)

ベジータは密かにそう思った。そう、これは危険だ。

「やつと能天気なお前にも飲み込めた様だな」

「パラガス! 一体どう言うことだ!」(消されてもいいのか!?)

「ご教授しよう! (2回目)」

ピシユイン!

「よお! ベジータ! パラガス!」

「カカロット! 邪魔するな!」

「そうかてえ〜事言うなよw」

「孫悟空、いやカカロット、お前にもご教授しよう! (3回目)」
それからパラガスの説明を聞いた。

「という訳で異世界にサイヤ人の優秀さを全宇宙に知らしめてやろう
ではありませんか!」

「…」ニヤツ

ヒュユユユ…

「…」ゲスい笑み

「オオオオオオオオオオオオ!」

「おや?」

ドゴーーーーー!!

「あうわー!!?」ガシャーン!

ベジータは何処かのビルにめり込んだ!

「ウアーーーー!!?」ドガシャーン!

ベジータと同じ様だ。既になんか知らないけど倒壊してたので被害は少ない。

「door!」ドタンバタン!

パラガスは床を転げ回っていた!正直おっさんの尻を見せられて
哀しい!

ウイイイイイン!

「へハハ!やあ、クズ共」

「ブロリーい?」

「親父い:何でこんな面白そうなことを誘わなかった!」

「めめめめめ、滅相もございません」汗(伝説のスーパー早口)

「!」(何かを思いついた笑み)(ゲス笑)

「パラガス!オメエ本当にクズだなあw」

「何!?!」

「自分の息子を置いてけぼりにしようとするなんて!とんでもねえク
ズ野郎だあ!」

「ゑゑ!!?」

「親父い1人用のPODかあ?」

「明日まで！明日までお待ちください！」

「待つてられぬううう!!!」

「oh:nno:」

そしてプロリーが乗ってきたPOD☆にぶち込まれ…。

「ウウウウオオオオオオオオオ!!!」メキメキメキ!

「どおおおお!?おおお!」メキメキメキ!

「親父いブラスター!!!」ブン!!

ヒューー!!!ウウウウウ!!!

デデーン☆「あああああああう☆」

何かパラガスがでかく空に表示され変な断末魔が聞こえた。

「へへへ!パラガス!悪く思うなよ!」

「フン、パラガスなんぞどうでもいい!早速異世界に出かける!早くしろ!早くしろ!早々早々早々早くしろ!」

「うぜええ!」

「俺がいる事も忘れるなよ!」

テーテレレー! (ryテツレー!

バサツ!

「ピッコロ!来てくれたんか?」

「フン、そんなわけなからう」

「ん?虫ケラお前も異世界イイイ!に行くんですか?」

「ベジータアア!とパラガスの会話を聞いてな、俺も異世界に行きたいんだZE☆」

「フハハ!とうとうお前も異世界に行く気になった様だなあ」

「いい加減にしろー!!間に合わなくなってもしらんぞー!!」

「うるさいです」ヒューー

岩盤先輩「しょうがねえやつだぜ」ヒョコ

何処からともなく現れた岩盤先輩!流石!

「ふおおおおわ!」ドコーン!!

見事にノルマ達成☆

ベジータは岩盤浴をしながら息絶えそうになっている：

(俺が一体何をしたんだ…)

「でえじょうぶだドラゴンボールで生きけえれるさ、そんな事より、オラ腹減っちまってえ！」

「仙豆だ、食え」

「かあ！オラそんな豆臭えもんたべたくねえぞ！」

「何だと！試してみるか！」

「落ち着け→や」ポピーン

「ぐおおおおお!!？」

「グアハ!!？」

デデーン☆デデーン☆

「全く、異世界とて、はしやぎ過ぎーです…」

そこからドラゴンボールで何とかかなり、パラガスも復活した。

まさしく、

復活の「K」

復活の「M」

復活の「H」

復活の「N」

である。

！
イニシャル文字の理由が分かった人は感想欄でつぶやいてみよう

「それじゃ、テメエ等！行くぞー!!」ブイーン！

「10円！タア！」ブイーン！

「早速伝説のスーパー魔王を征伐しに出かける！後に続け！」ブイーン！

「美味しい物を食い美味しい酒に酔う、こんな楽しい生活を送りたいぜえ
…」ブイーン！

「異世界で綺麗なオネエさんと絡みあーう☆」ブイーン！

そうこうして全員異世界に行った。

「誰か一人忘れちゃいませんかってんだ！」ブイーン！

今の人は誰？全身モザイクだったんですが…。

異世界イイイイ!!

気がつけば、桜が乱れている場所から一変し、いつもとは全然違う風景があった。

「ほう、ここが、伝説のスーパー魔王がいる場所k…」

「キタアアアアアああああああああああ!!!」

ベジータの言葉を遮り、ブロリーが伝説級に興奮していた!

しかし!それによって辺りに一面に気弾の嵐が!

「うわああああああああ!!!」

「あうわー!?!?!」

「ぐおおおおおおお!!!」

「グアハアアアア!」

「ヴア,ア,ア,ア,ア,ア,ア,ア,ア,ア!!」

この街の人々はブロリーの気弾により、悲鳴を上げた!シャモ星人のように!シャモ星人の様に! (大事なことなので二回言いました)

「あ、悪魔たん…」

「ブロリー!落ち着けえええ!」ピロロロロ!

「はい…」

一瞬で落ち着けるならちゃんとやれよ…「は?」…:…楽しんでね!

「貴様ああああああ!!俺のセリフまで遮りやがってえええ!!ぶつ殺してやる!」パキン!

「ブロリー!テメエ!よくもオラのことを!死ねええええ!!」
「ハアアアア!!!」

ドカーン!

「カカロット!貴様あ!俺のこともまとめてやりやがったな!!」

「へへへ!いいじゃねえかよwなあ今度エッチな写真の生写真あげるからさあwハハハ!」

モクモクモクモク

「やあ☆」

「あ」

毎回同じ目に遭っているのになぜ懲りないのだろうかこの2人。

「クズ、まずお前から血祭りに上げてやる！」

「お、お待ちくださいブロリー様アア！プリンでしたらあちらに！！」

食べ物で釣ろうとしたが残念!!ブロリーはご飯を食べてきた後で
した！

「いらぬウウウ!!」ヒューー！

「フオオオオオワ!!」ヒューー！！

ドゴオオオ!!

「さあ、カカロット！お前の番ダア!!」

「急ぎの用事が出来ちまったんで…」ガシッ

「あ、あ、ア、ア、ア、ア！」

そしてブロリーは腹パンを決める！

パリン!!

その時！悟空の体に衝撃（殺意）が走った！

「仙豆だ食え」

「すいません、僕の出番h…」

ご都合主義の如く、ギルド内に入ったサイヤ人達。

一気に省いて、今はもう、登録をしようとしていた。お金？え？そんななもの元からありましたか？（御都合主義）

「えー、皆様は冒険者「ってなんだあ？」そ、それを今から説明します。まず皆様にはクエスト「ってなんだあ？」そ、それも今ご説明します。まず冒険者というのはクエストを受け、それに応じた報酬を貰い生活をします。クエストというのは簡単に言えば頼み事です。そんな冒険者の中にも色々は職業があり、ソードマン「ってなんだあ？」ウィザード「ってなんだあ？」と、盗賊「ってなんだあ？」ああ！もう!!」

「君は頭が悪いんだな」

「流石はノータリン、バカの世界チャンピオンだな、アーハッハッハッハッハッハッ!!」

「ブロリー、オメー本当にどうしようもねえ！馬鹿だなあwwハハハハ!!」

「いくらアホでもそれぐらいも分からんのか！ぺっ！」

「やはり、必要なのはこのイケメン！天才！超絶良い男！のトランクスだあ！」

「……………ううづうううううオオオオオオオオオオオオ!!」 伝説化

「「「「「あ」「」「」」」」」

「全員血祭りーです☆」

HP 100
MP 83

防御力 72

耐久力 555

攻撃力 102

魔法攻撃 24

魔法攻撃耐性 35

素早さ 89 (POD移動9999)

知力 896

経験値 1

ベジータ初期ステータス

職業『ヘタレ』

HP 695

MP 268

防御力 1

耐久力 2

魔法攻撃耐性 1

精神攻撃耐性 | 426

攻撃力 200

魔法攻撃 569

素早さ 685 (逃げる時963)

知力 89

(精神的HP1)

経験値 1

悟空初期ステータス

職業『ドクス野郎』

HP 590

MP 59

防御力 354

耐久力 314

魔法攻撃耐性206

攻撃力328

魔法攻撃289

素早さ568

知力90

(精神的攻撃力(うざさ)(クス度)99999)

経験値1

ピッコロ

職業『仙豆係』

HP809

MP999

防御力635

耐久力635

魔法攻撃耐性865

攻撃力221

魔法攻撃126

素早さ53

知力996

(豆臭さ999なお悟空しか嗅げれない)

経験値1

合計金額26エリス

トラ：何だっけ

特性「無視」

ステータス「測れません、モザイクがかかっています」

一般(上級職最低限ステータス)

HP98〜109

MP52〜95

防御力69〜79

耐久力59〜63

魔法攻撃耐性25〜80

攻撃力80〜103
魔法攻撃28〜96
素早さ98〜119
知力109〜208

「へハハ！遂にブロリーも冒険者になれた様だなあ」

「さ、早くクエストに行こうではありませんかあ！」

「調子に乗るなよ！クソ野郎！俺が、ナンバーワンだ！」↑ブロリーのステータスのことを言ってる。

「早く飯い食わせてくれ！飯をークレーーー!!!」

冒険者になれば簡単に飯と金が手に入ると考えていた悟空！流石サイヤ人脳！

「ええい！黙れと言うのが分からんのかあ！」

「さっさとおー！シロツトオ!!!」

という事で。

「カエル退治でございます」

「何？俺たちの目的は伝説のスーパー魔王をぶつ殺す筈だ！いくらアホでもそれぐらい分かるはずだ！」

「いいい!!オラそんなん聞いてねえぞお：パラガス！オラを騙しやがったなあー！」

「ちやんと説明した筈です！」

「カカロット！貴様は黙っているお！」

「何だとー!!ベジータアア！てめえ！ぶつ殺すぞ！波アー!!」

「うおおおおおお!!?!」

「10円！（ガード）」

「か、カカロット！貴様あー！」

「孫！お前の力はその程度だったのか？」ドヤツ

「何だとー！テメエらを生かしておくわけには以いかねえ！だから異世界のクズども！俺にコイツらを倒せるパワーをくれ！パ

ワーワーをくれえええええ!!」

「親父い…コイツらはほつといていいかあ？」

「その様でございます」

「雑魚は引っ込んでろ！」ポヒーン！ポヒーン！

カエル達「うわああああああ!!」

「いぞお！今のお前のパワーでカエルどもをこの世から消し去ってしまえええ！」

「へハハ！余裕☆余裕☆」

「はーハツハツハ!!」